

# まちのそこらへんが遊び場！道でも広場でも遊んじゃお！

## 稲城市

プロジェクト実施者 えのきど遊人（あそびと）

### 実施日時

令和6年 10月5日(土) 10:30~14:30  
令和6年 10月27日(日) 10:30~14:30  
令和6年 11月17日(日) 10:30~14:30  
令和6年 12月1日(日) 10:30~14:30

### 実施場所

矢野口自治会館うら広場及びその周辺道路

### プロジェクト概要

日頃遊ぶことができない「道」と隣接する「広場」で、運動遊びや水遊びなど、季節に応じた遊びを行います。また、大勢で楽しめる工夫をしながら、ゴミを拾い、デッキブラシで道を磨き、遊びの一環として、きれいに掃除をします。地域のそこらへんの「道」や「広場」で遊び、くつろぐことで、子供にとっての「自由な遊び」を実感することができます。

### イベント詳細

日ごろは車や自転車、徒歩で使っている「道」を封鎖して、ゴロゴロ転がったり、思いっきり地面にお絵描きをしたり、からだいっぱい（ちょっとでも）絵の具を塗って紙にペタペタしたり、日ごろやりづらいけど「やったら楽しそう」が実現できるよう企画しています。また、季節に応じて水や火を使ってみたり、竹や新聞紙、段ボールなどの様々な素材を使ってみたり、子どもの自由な発想を大切に遊べるようにします。「道」の隣にある「広場」でも、昔遊びや工作遊びなど、子どもの「やりたい」が広がるよう、様々な環境を準備しています。もし、遊び疲れたなら、芝生やレジャーシートでゴロゴロしながらのんびり休憩をしましょう。そんな子どもたちと一緒に、大人ものんびりしましょう。最後にはゴミ拾い競争や、デッキブラシで「道」をゴシゴシ大作戦もします！

### プロジェクトへの想い

日ごろ、よく通っているだけの「道」が、遊ぶことによって特別な場所になります。「道」で遊ぶという特別感、特別な場所がある地域、地域にいる大人や子どもとの繋がり。それらは地域への愛着を深め、子どもが安心して安全に暮らしていく地域を育てることになるだろうと思います。「子どもの『楽しい』のために」という思いの下に集まった地域の大人が、子どもが子どもらしくワクワク・ドキドキしながら思いっきり遊びこむことができるよう企画しています。楽しそうに遊びこむ子どもを見て、大人もワクワク・ドキドキしながら、ゆったり楽しめることも期待しています。



# まちのそこらへんが遊び場！道でも広場でも遊んじゃお！

## 子供の感想

- ・小学3年生：とてもたのしかった。またいきたい。
- ・小学3年生：またやるとき、まだやってないのをやりたい
- ・小学4年生：きちょうな体験をありがとうございました！また、行きたいです・v・
- ・小学5年生：モルックを自分の家でペットボトルなどで作りたいです。
- ・小学6年生：すべり台がとても楽しかった。
- ・小学6年生：いろいろなあそびがあったのでいろいろなあそびでたのしめた。

## 保護者の感想

- ・遊びを通じて年齢の違う人同士が繋がれたのが良かった。また参加したいです。
- ・地域の方々が協力的で、とても居心地のいい空間でした。子供たちもとても楽しめていて、いい時間を過ごせました。ありがとうございました。
- ・物を作るのが好きな子達なので新聞紙でずっと遊んでられました！子供なりの遊び方が見れて良かったです！
- ・近所でこういった家ではできない遊びができるのはありがたいです！
- ・いつもは「これで遊ぼう」と目的を持って遊びに行くが、なんとなくその場において楽しむ経験ができて、自分が子どものときは当たり前だったが、貴重な経験だった。ありがとうございました。
- ・絵の具遊びが特に楽しかったようで何度も「楽しい！」と言い満足そうでした。
- ・子供たちが自由に参加でき、楽しめるイベントで、みんなイキイキとしている姿が見られました。

## 主催者の感想

私たちは、日ごろ通りすぎる道が遊び場になることで、子どもが日常の空間が非日常になる特別感を感じたり、遊びや仲間が広がったり、地域への愛着をもてるようになっていくことを望んでいます。そして、地域や子どもに関わる大人すべてに、子どもは遊ぶ存在なのだということを再確認してもらい、地域で子どもを見守り育てようという意識の下、大人同士も繋がるきっかけになるといいな、と思っています。その中で、子どもが個々に応じたペースで過ごしながら、子どもたちの興味関心が広がるよう遊びを準備し、応答的に関わることを意識してきました。予想以上にダイナミックに遊ぶ子どもたちと、それを見守る寛容な保護者の方々に助けられ、楽しい時間を過ごすことができたのではないかと思います。子どもたちは、全身に絵の具を塗って様々なものになりきる、段ボールの中に入って見えない前方にひたすら進む、集中してドリルを使い竹に穴を開ける、道路にチョークでお絵描きをしてはデッキブラシで消す、初めてのモルックをやってみる、など様々な姿を見せてくれました。大人では考えつかないような楽しみ方をしていたことも面白かったです！ご近所の方が、「何やってるの？」「このおもちゃ使ってくれる？」と興味を示してくださったのも大変嬉しいことでした。この地域にはこんな遊び場が出現する！ということが広く根付くように、今後も継続していきたいと思えます。

